

◆食の安全科学ゾーン/セッションプログラム【聴講無料!】

会場：食の安全科学ゾーン内セッションコーナー

	5月21日(水)	5月22日(木)	5月23日(金)
10:30-10:50	「AIBフードセーフティシステムとは-食品工場の5Sの徹底」 (社)日本パン技術研究所フードセーフティ部	「ノロウイルス食中毒~予防対策と検査技術の現状と展望~」(社)日本食品衛生協会 常務理事・事業部長 高谷幸	「におい識別装置“FF-2A”によるにおい質の定量方法」(株)島津製作所 分析事業部 マネージャー 喜多純一
11:00-11:20	「食品工場における洗浄除菌の実際」 上野製菓(株)応用研究グループ 次長 小堺博	「ノロウイルス対策と電解水」 (財)機能水研究振興財団 堀田国元 (後援:強電解水企業協議会)	「えっ!?あの会社でも ~活躍の場を広げる味覚センサー~」 (株)インテリジェントセンサーテクノロジー 生産技術サポート部 堀端 哲也
11:30-11:50	「配合管理と食法規に基づく一括表示管理を実現する製法管理システム「Quebel」」 JFEシステムズ(株) プロダクトソリューション開発部 DBグループ 主席課長 山本公一	「人と環境に優しい『除菌・殺菌』微酸性電解水」 (株)ホクエツ取締役副社長 中留千明	「電子嗅覚・味覚システムのスクリーニングツールとしての応用」 プライムテック(株)アナリティカルサイエンス事業部 課長 吉田浩一
12:00-12:20	「『工場内ヒューマンエラー防止』自動車生産ボカヨケシステムのご紹介(仮)」 三洋機工(株)FAシステム開発部部長 常田勝男	「食品分野における衛生管理と電解水」 (財)機能水研究振興財団 常務理事 堀田国元	「食感数値化のためのテクスチャー測定器のご紹介」 (株)山電
12:30-12:50	「今求められるコンプライアンスと第三者評価 ~東京都食品衛生自主管理認証制度~」 東京都福祉保健局健康安全室食品監視課 大山明日子	「農場から食卓まで」の生鮮品検査キット(新商品案内) (株)アヅマックス	「味と機能性成分の分析技術の最新動向~GC/MS, LC/MS, CE-MS分析から多変量解析(PLS)まで~」 アジレント・テクノロジー(株)野上知花
13:00-13:20	「期限表示のための科学的根拠」 (財)東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 所長 伊藤武		「私たちは声で記録します。消費者の信頼を得るボイスナビデータ」 HACCP・AJVC 苗木 康代
13:30-13:50	【基調講演】 「アレルギーの表示制度と検出方法の最新情報」 国立医薬品食品衛生研究所 代謝生化学部 室長 安達 玲子	「安定同位体比を用いた食品の偽和判別の事例」 昭光通商(株)科学システム部 安定同位体グループ 諸町智行	「超低圧3μmODSカラムの特長と食品関連化合物の分析例紹介」 (株)住化分析センター 大阪事業所 金子弘
14:00-14:20	「2010年に表示義務化するエビ・カニ検査と新規検査項目の紹介」 オリエンタル酵母工業(株)矢野竹男	【基調講演】 「食品分析の信頼性を確保するメソッドバリデーションとAOACインターナショナル」 信州大学農学部教授/前AOACオフィシャルメソッドボードメンバー 後藤哲久	「超臨界技術を用いた農業分析の効果的な前処理手法」 (仮) 日本分光(株)
14:30-14:50	「食物アレルギーに対する工程管理」 日本ハム(株)中央研究所 神谷尚徳 (企画協力:和光純薬工業)	「食品の安全安心を守る試験所認定制度ISO/IEC17025」 (財)日本適合性認定協会 松本年雄	「残留農業・動物用医薬品分析(2008年度モニタリングとリスク管理)」(財)食品分析開発センター SUNATEC 第2理化学室長 菊川浩史
15:00-15:20	「食物アレルギーに対する工程管理」 日本ハム(株)中央研究所 神谷尚徳 (企画協力:和光純薬工業)	「食品の安全安心を守る試験所認定制度ISO/IEC17025」 (財)日本適合性認定協会 松本年雄	「残留農業分析を有効に行うために~サブ/リグから結果の解釈まで~」(株)キューサイ分析研究所 中央研究所長 横下正彦
15:30-15:50	「食物アレルギー検査法の動向」 (株)ファスマック 代表取締役 布藤聡	「分析検査機関における精度管理」 (財)日本食品分析センター 微量試験部 部長 中村宗知	「食品メーカー様必見!~どこまで出来る?残留農業分析~」 シンワフーズケミカル(株)取締役 森下順光
16:00-16:20	「モノクローナル抗体を用いた加熱食品用・未加熱食品用アレルギー検出キットの開発」 プリマハム(株)中央研究所 秋元政信	「FAPAS/FEPAS食品技能検定試験による分析技術の精度確認」(仮) 英セントラルサイエンスラボラトリー Dr. Amanda Earnshaw 逐次通訳:(株)GSIクレオス 斉藤陽	「食品安全における分析の役割 -残留農業等の分析を中心にして-」(株)三井化学分析センター 主席研究員 近田一幸
16:30-16:50			「世界の食の安心と安全を守る分析技術の紹介」 ユーロフィンズサイエンティフィック社 分析ソリューションズ マネージャー コリン グラニエール

※講演者、タイトル等は変更になる場合がございます。